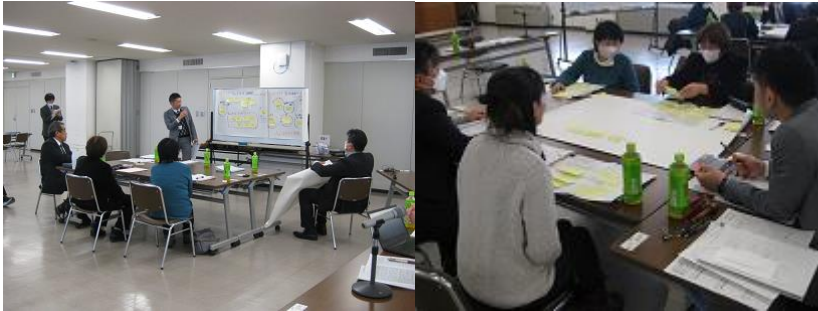


(仮称) 見附市子ども・子育て条例制定検討委員会 (第2回)

グループワークまとめ

1班



<テーマ1> ことばを整理・見直し



ことばの整理 (や見直し)

- ・第2章: 子ども・子育て支援に関する総合的な施策とはこどもの育ちを支援する取組と同義?
- ・大人が読んでわかりやすく、少し短くしたらどうか?

名称を明確に

- ・学童クラブも明示する
- ・幼稚園の文字がないのは全てこども園になるから? 見附市は学童保育の対応がまちまち。学校と家庭の橋渡しであり、大事な存在。その文言がかかれていないのは重視していないから?

こども目線に

- ・中高生意見をいれた方が? 小学生意見が多い?

・こども条例には周りの大人・社会に対する内容だけがかかっているが、こどもにも必要ではないか。

(例) こどもはお互いの人格を尊重し、誠意をもって接するものとします。こどもは未来のために進んで学び、よりよくなろうと努力するものとします。

公平なアンケート

・こどもアンケートが漠然としている。どんな聞き方をしたのか。「社会に役立つ」→したくないとは答えにくい、どんなふうに役立ちたいかが問題。どんなこどもにアンケート？年齢や見附市全体？

こどもの定義

こどもの定義とは施策ごと？

親の役目が大切

・みんなが自分たちの役割を理解してもらうことが大事。特に保護者はこどもの心身にかかわるのが一番重要と思う。周りのひとたちの協力が必要。(保護者の親の役目が大切か、親の役目が大切という部分があるので、保護者が大切っていう部分があるんだけどもそれについて周りの方でみんなで囲んで子育てを進めていくっていうようなところがやっぱり重要。)

・最近若いお父さんが積極的に子育てに協力している姿が多くみられてうれしく思う。

地域力の大事さ

・地域の人との交流を増やしたい。(困ったことを相談できる家族・友だち以外で)

・核家族が多いので親も子もいろんな世代の人と交流しながら体験し多くのことを学べるような企画を考えてほしい。

・市の中心にはプレイラボみつけができ、友だちと楽しく遊んだり学んだりできるが、離れたところに住んでいる友だちは「友だちと遊ぶ＝パソコンで友人と対戦バトルゲームをすること」が多くきかれる。もっと健康的な遊びができるよう、各地域にある施設を活用する方法など考えてもらいたい。

<テーマ2> みんなの心と時間に余裕を



SNS を入れる

- ・ SNS などへの対応を加えた方がいいのでは。
- ・ 言葉の汚さ。注意されない。

体制づくりの難しさ

- ・ 親の価値観の多様さ。難しさ。

親の自己肯定感を上げる

- ・ 子育てに困っている親ほど、相談にこない。訪問を拒否する傾向がある。親の自己肯定感をあげる一文がほしい。

求めていることを支援

- ・ 第3章10条2：困難を抱えているは、「～などの困難を抱えている」と説明が必要では？
- ・ 困っている親が求めることを支援。

地域のか

- ・ 地域に相談できる人（家族以外で利害関係のない人）
- ・ 9条（1）：地域社会のかかわりの中で交流できる機会をぜひ計画してほしい。

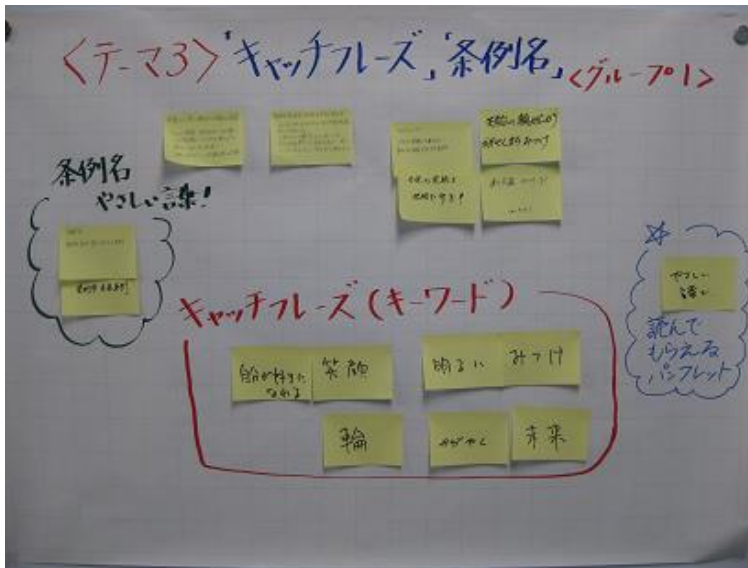
うしろめたくない母親に

- ・ 第19条：広報及び啓発について 子育ては家族や地域で行うのがあたりまえの社会にしたい。母親が楽をしてもうしろめたくない社会に。

アンケートを正確に

- ・ 「自分が好き」というこどものアンケートと「自己肯定感を高める」の矛盾。「自己肯定感をより高める」とよりを追加する。
- ・ アンケートについては明示されていない。（何人に？年齢は？全員？）アンケートを中心に記述していくならばなおさら。～ほしい→記述してもらった？○つけしてもらった？

<テーマ3>



キャッチフレーズのキーワード

自分を好きになれる、笑顔、明るい、みつけ、輪、かがやく、未来

条例名はやさしい言葉

- ・見附市こども・子育てまんなか条例
- ・見附市未来条例

読んでもらえるパンフレット やさしい言葉で

具体的なキャッチフレーズ案

- ・子育てで共に創ろう明るい未来
- ・自分を大好きになれるまちみつけ
- ・こどもが笑顔で健やかに自分らしく成長できるまち見附
- ・こどもの笑顔を地域で守る
- ・笑顔の輪が広がりかがやくまちみつけ
- ・輝け笑顔みつけっ子

(・条例はなかなか効果なくなるんだけどキャッチフレーズがサブタイトル的につくと、また柔らかい表現ができるかなと思う。)

「ニーズに応じた」：当事者の心情の理解に寄り添う～ケースに応じた支援

地域とのふれあい

朝のあいさつ コミュニティのイベント

養育不安

相談（こんにちは赤ちゃん、定期健診、専門機関の充実（支援センター・学校はかなり整備されている。）

こどもの安全

・こどもが育つ体制づくり（近年かなり進んできていると思う）多様な関係機関相互の連携。交通安全。遊び・交流施設の整備など。

地域社会の役割 第6条

地域の中でこどもと触れ合う場が少ない。気軽に交流できる場・機会の工夫をしなければならぬ。

インクルーシブを実現する人員

<テーマ3>

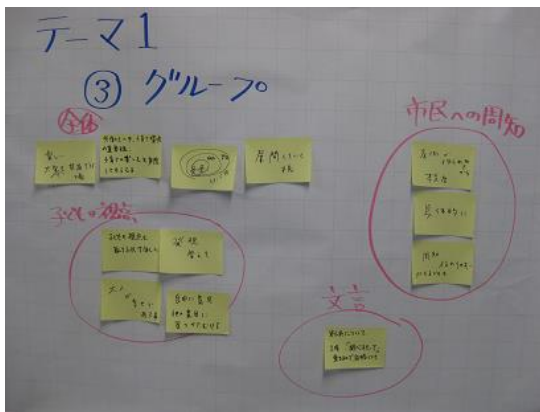
具体的なキャッチフレーズ案

- ・守り育てよう未来のため
- ・どまんなか まんなか
- ・子育てどまん中 子育てをまん中に

3班



テーマ1



全体

- ・楽しい。大変さを共有できる場
- ・共働きの中、子育て環境の重要性。子育ての楽しさを実感してもらえる。(そのためには子育て楽しくない、大変だということを話し合える場があるといい。)
- ・こどもが真ん中、家庭、学校の輪のイメージ。イメージ図(やイラスト)の活用。
- ・展開していく。核。

こどもの視点

- ・こどもの視点も取り入れてほしい。(中学生や高校生やこども、若い人の観点を入れて話し合いをしていくのが良い。)
- ・発想を変えて
- ・(こどもの条例という話ではあるが、まずは)大人が幸せであること(で、自然とその幸せの中で育つこどもは幸せになっていくんじゃないか。)
- ・自由に意見 ほかの意見に耳を傾ける。

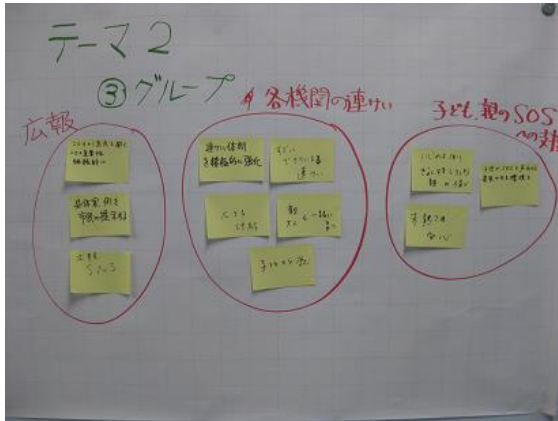
市民への周知 (情報提供が大事)

- ・(条例の文としてはこのままで問題はない。) 条例が作られてから 本気度
- ・具体的に
- ・周知 伝わりやすい 大人もこどもも

文言

- ・第6条2項「関心をもって」1項と重なるので省略しても

<テーマ2>



広報

- ・ 子どもから意見を聞くことの重要性、継続的に
- ・ 具体案、例を市民に提示する。
- ・ 広報、SNS (の重要性) (特に子育て世代のママやパパたち)

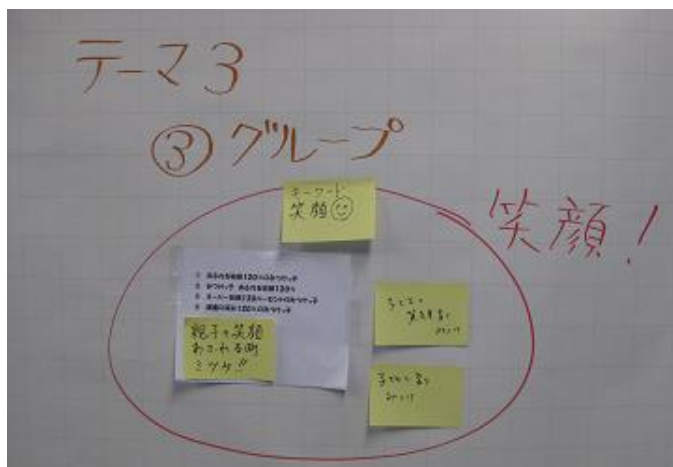
各機関の連携

- ・ 連携体制を積極的に強化
- ・ すでにできていること、連携
- ・ 広まる理解
- ・ 親も大人も一緒に育つ
- ・ 子どもから学ぶ

子ども・親の SOS への支援

- ・ (いじめられている、虐待を受けている子どもの手助けはあるが、) いじめる側、虐待してしまう親の保護 (心の弱さを保護) したり、SOS が出しやすい環境が大事。)
- ・ 子どもが SOS の声を出せる発言できる環境を。
- ・ 未熟さ (対して) 安心 (出来るような雰囲気と支援が必要)

<テーマ3>



キーワードは笑顔！ 120%という言葉がいい。みつけが入るといい。

- ・子どもと笑顔が育つみつけ
- ・子どもと育つみつけ
- ・親子の笑顔あふれるまちみつけ
- ・あふれる笑顔120%のみつけっ子
- ・みつけっ子 あふれる笑顔120%
- ・スーパー笑顔120%のみつけっ子
- ・満面の笑み120%のみつけっ子